

# 八女市未来づくり協議会

～まちづくり団体の情報紙 第9号～（H31・3月発行）

発行：八女市企画部 地域振興課地域づくり推進係 TEL0943-23-1224

## 平成30年度八女市未来づくり協議会視察研修 ～佐賀県武雄市～

八女市未来づくり協議会では、平成30年12月6日（木）佐賀県武雄市の地域コミュニティや同市「朝日町まちづくり推進会」の取り組みなどの先進地視察研修を行い、各地区のまちづくり団体役員と関係職員42名が参加しました。

武雄市は、平成18年に旧武雄市、旧山内町、旧北方町が合併し、9つの地域から成っています。市全体では人口減少にあるなか、視察した朝日町では増加傾向にあるという活気のある地域でした。

朝日町まちづくり推進会は、その設立について早くから機運が高まり、昭和60年に発足し多彩な行事に取り組まれています。特に、地域と小学校が合同で開催している「朝日町民・小学校合同運動会」は、地域の名物行事となり、たくさんの住民の参加で賑わっているとのことでした。その他、まちづくり推進会の組織機構や構成団体、主要事業などの説明を受け、高齢化の進行、核家族化による地域とのつながりの希薄化、地域行事の参加者の減少、当事者意識の低下などが要因となり、役員への負担が増大し、なり手が減少し、継続して取り組むべき事業が困難などの、八女市における各まちづくり団体でも抱えている同様の悩みもあるとのこと、共感しながら意見交換を行いました。

時代と共に課題も増えるなか、これまで「朝日町まちづくり推進会」が30数年間活動を継続されていることを参考に、これからの八女市のまちづくり団体の活動に活かしていきます。



朝日町まちづくり推進会との意見交換会

## 八女市未来づくり協議会 & 市執行部との意見交換会開催

開催日：平成31年2月21日  
場所：おりなす八女小ホール

八女市未来づくり協議会の第2回委員会と市執行部との意見交換会を行いました。

第1部は、情報交換会として「地域づくり提案事業」の採択団体のうち2団体から実際取り組んだ活動を発表していただきました。

- ①福島地区まちづくり協議会（発表者：宇野 喜久さん）
  - ・活動名称（歴史文化や町並みなどの地域資源発信 PR 事業）
  - ・活動概要（案内板及びリーフレット・パンフレットを作製）
- ②光友地区地域振興会議（発表者：上嶋 忠明さん）
  - ・活動名称（光友まつり）
  - ・活動概要（地域住民が集う新しい地域交流イベントを実施）

第2部では、市執行部との意見交換会を行い、新庁舎建設と男女共同参画の取り組みについて意見交換がなされました。



《会長あいさつ》

八女市未来づくり協議会会長

田島 富士雄

日頃より、地域づくり活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、かつての私たちの生活（地域）は、2世代、3世代が同居し、家族間や地域間の強い結びつきがありました。ところが現在の地域は、少子高齢化、核家族化、人口減少をはじめとした社会情勢の変化に伴い、特に地域コミュニティの弱体化が進み、地域は様々な課題を抱え、その解決と活性化・再生に向けた取り組みが求められています。これらの諸問題を解決する手法の一つが「協働によるまちづくり」と考えています。各まちづくり団体におかれましても、更なる取り組みをお願いいたします。



# 平成30年度未来づくり協議会の取組み

開催日	事業名	事業の詳細	参加者
平成30年 4月11日	◆第1回役員会	○平成30年度「総会及び第1回市執行部との意見交換会」要領検討	・会長、副会長 ・事務局
5月9日	◆八女市未来づくり協議会総会及び第1回市執行部との意見交換会	○平成29年度事業報告・決算報告について ○平成30年度役員体制について ○平成30年度事業計画・予算について ○市執行部との意見交換	・協議会委員 ・市執行部 ・事務局、支所事務局
7月11日	◆第2回役員会	○「地域づくり研修会」「先進地視察研修」について (日程、活動事例発表、講演会、視察地等の検討)	・会長、副会長 ・事務局
9月21日	◆第3回役員会		
10月18日	◆第4回役員会 ◆平成30年度地域づくり研修会	○地域づくり活動事例発表 (2団体) ・星野1区がんばる振興会 ・三河校区まちづくり協議会 ○講演会「縮小する社会をチャンスに変える」 講師：株式会社あわえ 代表取締役 吉田 基晴 氏	・来賓(市長・議長) ・まちづくり協議会 構成員・行政区長 ・自治公民館長 ・市議会議員・市民 (160名)
12月6日 ～7日	◆先進地視察研修 (1泊2日)	○地域づくりに関する先進的事例調査 ・佐賀県武雄市「朝日町まちづくり推進会」	・協議会委員 ・事務局、支所事務局
平成31年 1月10日	◆第5回役員会	○視察研修の総括及び第2回市執行部との意見交換会開催要領の検討	・会長、副会長 ・事務局
2月21日	◆八女市未来づくり協議会及び第2回市執行部との意見交換会	○地域づくり活動事例発表 (2団体) ・福島地区まちづくり協議会 ・光友地区地域振興会議 ○市執行部との意見交換	・協議会委員 ・市執行部 ・事務局、支所事務局
3月12日	◆第6回役員会	○H30年度事業活動総括 ○H31年度事業方針及び事業計画等の検討ほか	・会長、副会長 ・事務局
3月13日	◆情報紙の発行	○八女市未来づくり協議会第9号発行 (広報八女3月15日号同時配布)	・全戸配布

※八女市未来づくり協議会とは・・・

八女市未来づくり協議会は、まちづくり団体21組織の連絡協議会として平成22年6月発足。

## 地域づくり研修会

開催日：平成30年10月18日

場 所：おりなす八女小ホール

### 《第1部》地域づくり活動事例発表

- ①星野1区がんばる振興会 (発表者：堤 修一さん)
  - ・活動名称 (多目的広場整備事業)
  - ・事業概要 (緑草地を削り取り、多目的広場とするためコンクリート舗装作業を実施。)
- ②三河校区まちづくり協議会 (発表者：川崎 和則さん・梅野 満さん)
  - ・活動名称 (矢部川河川敷及び遊歩道沿いの景観づくり事業)
  - ・事業概要 (豪雨災害により彼岸花球根が流出したため、彼岸花球根を植栽)

### 《第2部》講演会

- ・演題「縮小する社会をチャンスに変える」
- ・講師 株式会社あわえ代表取締役 吉田 基晴氏
- ◆過疎化を嘆くのではなく、過疎地の課題解決こそがビジネスにつながり「にぎやかな過疎」の町の実現を提唱。



# 平成30年度 地域づくり提案事業採択団体

地域づくり提案事業は、地域コミュニティの維持並びに地域の再生及び活性化の推進を目的とした企画提案をまちづくり協議会等の地域団体から募集し、助成金を交付するものです。

平成30年度は次の団体が採択され、各地域で活動を展開し地域づくりに寄与されました。

団体名	活動名称	事業概要
長峰校区まちづくり連絡協議会	豊福地域の歴史・伝統行事等を伝えるための郷土史編さん事業	先人達が残してきた地域の歴史と文化について、史跡や物語、伝統行事などを記録保存することで後世に伝え、新たなまちづくりに繋げていきたいとの思いで編集委員会を立ち上げ、郷土史を発刊。
川崎校区まちづくり協議会	第3回かわさきよか祭(継続事業)	新企画のイベントとしてH28年度から開催。歩け歩け大会・文化祭・カラオケ・踊り・農産物直売・露店など多彩な催しで地域住民の交流事業として実施。
光友地区地域振興会議	第2回光友まつり(継続事業)	地元の保育所、中学校、文化サークル等の発表やご当地クイズ、のど自慢、屋台遊び、バザー等を行い、新たな地域交流事業として2回目を迎えた。
上妻校区まちづくり協議会	地域で支えていく子どもの成長支援事業&環境美化事業 ～地域と学校が連携した花いっぱい運動～	上妻小学校の児童と地域住民が共同作業を行い、プランター500個にパンジー4,000苗を植栽。コミュニティ・スクールのパートナーとして、連携・協力し、子ども達の成長を支え「地域とともにある学校づくり」を推進。
三河校区まちづくり協議会	矢部川河川敷及び遊歩道沿いの景観づくり事業(継続事業)	H29年度に引き続き、草刈りや整地、彼岸花の植栽、植栽後の管理作業に取り組んだ。また、「彼岸花群生地」の標識看板を2か所設置。
豊岡地区自治運営協議会	故郷の昔を残す冊子づくり(ふるさと豊岡地区をたずねて)	現存する歴史的資産等を調査し、写真に説明を加えた冊子を作り「豊岡」の名が残る歴史文献としてまとめた。
豊岡地区自治運営協議会	菖蒲園の里づくり(環境美化推進事業)	荒廃農地を解消するため、雑草の刈り取りを行い、菖蒲を植栽。H30年度は、980㎡の菖蒲園を開拓。
大淵地区自治運営協議会	世代を超えた文化の継承	大淵地区の8行政区にデジカメを配布し、任命する「記録員」が行事や活動を記録。記録したデータは、大淵地区全体の文化として編集。協議会総会や行政区で試写会を行い、共有しながら後世に伝えている。
大淵地区自治運営協議会	大淵地区集落地名案内板コンテスト	集落の歴史・地形などの特徴を表したメッセージ性のある地名案内板を地域住民で作成、設置し、優秀作品を表彰。
夢かさはら自治運営協議会	きのこ村安全対策事業	大雨時に土砂崩れしないよう、きのこ村キャンプ場に流れてくる谷沿いの人工林を伐採。切った木は加工し、きのこ村で活用。
夢かさはら自治運営協議会	櫨の植樹と里山アーティストインレジデンス in 上鹿子尾	小高い山に自生している木を切り、櫨の苗木を植栽。また、人が集まり交流が生まれる山になるよう、伐採した木を使い、アーティストインレジデンス(芸術制作を行う人を一定期間ある土地に招へいし、滞在しながら作品制作を行わせる事業)を行う準備を行った。
上陽地区まちづくり協議会	久木原地区グラウンド整備事業	グラウンド西側敷地のフェンス、プレハブ倉庫を撤去し、グラウンドを拡充。また、遊歩道の整備、グラウンドの芝生化、樹木の移植を行い、久木原地区の憩いの場として整備。

# 市とまちづくり団体との協働によるまちづくり基本方針（抜粋・要約）

## ～市民とともに歩み、市民とともに進めるまちづくり～

少子高齢化や過疎化、自然災害の多発など地域情勢がめまぐるしく変化するなか、地域課題や住民ニーズも多様化・深刻化してきています。しかしながら、八女市の予算や職員数は限られており、その課題を行政サービスだけで解決していくことは困難となってきています。こうしたことから、「市民と市が連携して取り組む協働のまちづくり」が求められています。

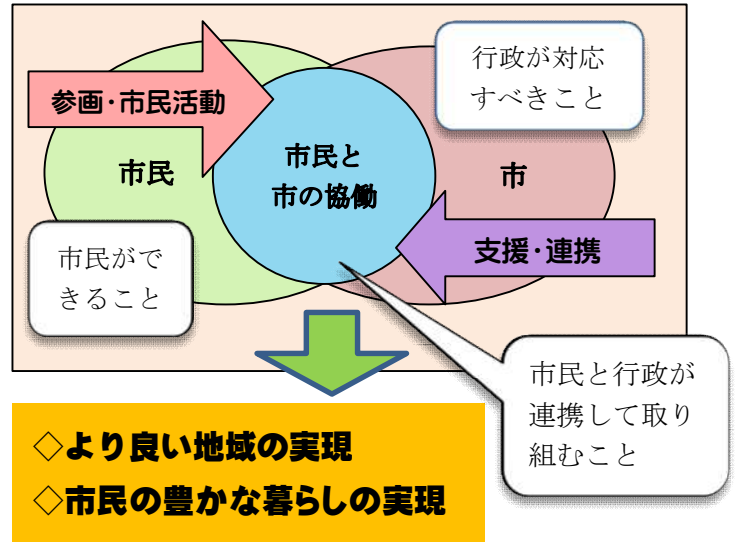
市では平成23年3月に「市とまちづくり団体との協働によるまちづくり基本方針」を定め、協働のまちづくりを進めています。今回、その基本方針の中から一部を掲載しました。

### ■市民との「協働」とは

市民と行政が、地域の現状を把握し、地域課題を共有しながら対等な立場で連携し、地域の活性化やまちづくり施策を推進していくことです。

### ■なぜ協働なのか

市民と行政が、それぞれの特性と専門性、自律性を基に対等の立場で不足の部分を相互に補いながら、役割を分担することで、相乗効果が生み出され、解決できなかった地域課題の解決が期待されます。



### ■協働の進め方

小学校区等を単位として組織するまちづくり団体は、行政区をはじめとする区域で活動する主要な団体が結集し、「自己決定」「自己実現」「自己責任」の協働三原則のもと、市と協働して地域の活性化やまちづくりに取り組むものとしします。

まちづくり団体の役割	<b>(1) 地域力の結集</b>	<b>(3) 地域づくり活動</b>
	構成員がお互いに連携し、協力し合う体制を構築することで、地域一体となり住みよい地域づくりを進めます。	自ら策定した地域振興計画に基づき、計画的かつ効果的に地域づくり活動を推進します。
	<b>(2) 地域振興計画の策定</b>	<b>(4) 市との協働</b>
	地域の現状や課題を明らかにして、将来の地域のあるべき姿や地域づくり活動方針を住民に示した地域振興計画を策定し、意思統一を図るものとしします。	地域振興計画に定める地域づくり活動は、必要に応じ市へ提案を行い、必要とする行政サービスの提供を受けることができます。また、市と連携又は共催して施策を実施します。

### 《 21のまちづくり団体 》

地区名	まちづくり団体名	地区名	まちづくり団体名
八女	福島地区まちづくり協議会	黒木	木屋地区自治運営協議会
	長峰校区まちづくり連絡協議会		夢かさはら自治運営協議会
	上妻校区まちづくり協議会		大淵地区自治運営協議会
	三河校区まちづくり協議会	立花	光友地区地域振興会議
	八幡校区まちづくり協議会		北山地区地域振興会議
	川崎校区まちづくり協議会		白木地区地域振興会議
	忠見校区まちづくり協議会		NPO 法人迎春地域振興会議
	岡山校区まちづくり協議会	上陽	上陽校区まちづくり協議会
黒木	黒木地区自治運営協議会	矢部	矢部地域づくり協議会
	豊岡地区自治運営協議会	星野	星野地区まちづくり協議会
	串毛地区自治運営協議会		